

1992年 11月 1日(日)~11月29日(日)

寄贈品コーナー

鉱物と岩石 -山本亮一コレクション-

11月1日(日)~11月29日(日)

■今回は「鉱物と岩石」をテーマに、山本亮一氏から寄贈された数多くの標本の中から代表的なものを展示し、皆様にご覧いただこうと思います。

■山本亮一氏は長年、全国の鉱山などを精力的に歩かれ、数多くの鉱物・岩石を収集され、現在も活躍されています。当博物館には5年ほど前から鉱物標本を中心に資料を何度となくご寄贈いただき、これまでの資料点数は、鉱物標本216種310点・岩石標本162点・化石標本31点・未固結標本3点の、合計506点にのぼっています。この中には、極めて稀にしか産出しないもの、あるいは既に採集することのできなくなった標本が数多く含まれ、また、山本氏が自ら見いだされた

日本で初めて発見された鉱物「ゲージ石」も見られ、たいへん貴重なコレクションです。

■丹沢山地や御坂山地など、相模川流域の鉱物・岩石も多く含まれており、現在行っている「相模川を歩く会」の地層観察やまとめにもたいへん参考になります。

■今回の展示では、成分による分類にしたがって代表的な鉱物を展示し、それらの鉱物が寄せ集まってできているさまざまな岩石や、相模川流域の鉱物を紹介したいと思います。

■博物館で収蔵している鉱物標本には、このほか木島 勇氏から寄贈された164点の資料もあり、また別の機会に展示したいと考えています。